

中堅世代としての経験と現状、上司に望むこと、
さらに若い世代への提言、四国支部での活動など、
diversity, inclusion, equity

四国支部女性内視鏡医の会 アンケート結果をふまえて

三豊総合病院消化器科

日本消化器内視鏡学会四国支部女性内視鏡医の会

安原ひさ恵

JDDW COI 開示

発表者名： 安原ひさ恵

所属機関名： 三豊総合病院消化器科

演題発表に関連し、開示すべきCOI 関係にある
企業等はありません。

女性医師の近年の状況

- 2022年12月末時点 医師数 女性医師 8万1139人(全体の23.6%) ↑
- 2024年 医師国家試験合格者 女性 3307人(全体の34.6%) ↑
- 2023年度 医学部入学者 女性 3696人(全体の40.2%) ↑

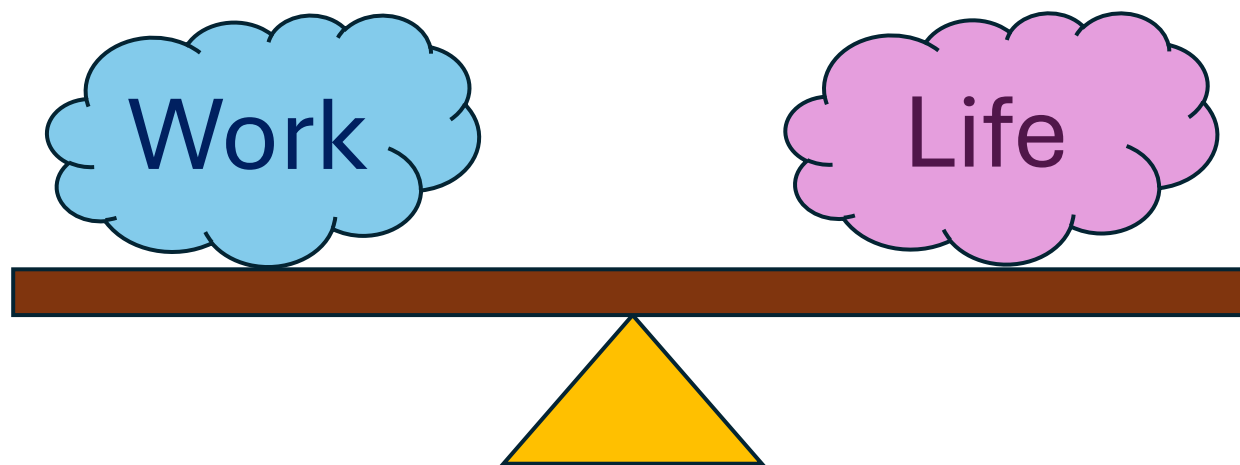
日本消化器内視鏡学会各支部の女性医師の割合

	女性会員(%)		女性指導医(%)		女性支部評議員(%)	
北海道支部	186	13%	22	7%	10	7%
東北支部	270	13%	17	5%	18	7%
関東支部	2255	19%	220	9%	82	10%
甲信越支部	148	12%	7	3%	10	8%
東海支部	453	14%	35	6%	17	7%
北陸支部	100	10%	7	3%	7	7%
近畿支部	1113	18%	103	8%	34	7%
中国支部	389	17%	39	8%	29	10%
四国支部	274	23%	24	11%	16	11%
九州支部	592	14%	37	5%	25	7%

ワークライフバランス

2007年12月 内閣府で策定された『仕事と生活の調和憲章』

誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう、社会全体で仕事と生活の双方の調和の実現



内視鏡学会四国支部でのアンケート調査概要

【目的】良質かつ適切な医療提供のため、また医師の健康を維持するため、2024年度から医師においても働き方改革の新制度が適応された。男女問わずワークライフバランスを考えた働き方は重要であり、現在の消化器内視鏡医の職場環境を調査し今後の課題を提案する。

【対象】日本消化器内視鏡学会 四国支部会員 1245名

【期間】2023年9月20日～11月8日

【方法】Microsoft Forms(無記名)

【回収状況】回収数 282 (22.6%)

うち有効回答数 282 有効回答率 100%

→今回は勤務医227名(18.2%)の回答について集計した。

アンケート解析対象(勤務医 227名)

年齢 20歳代 10名

30歳代 63名

40歳代 58名

50歳代 64名

60歳代以上 32名



中堅医師 121名(53.3%)

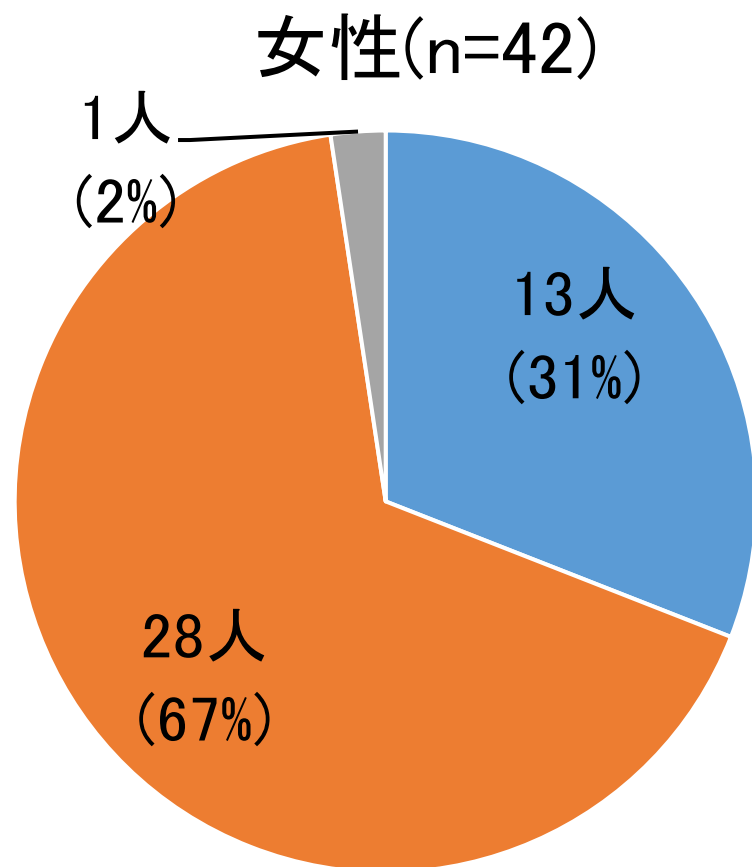
男性 79名

女性 42名

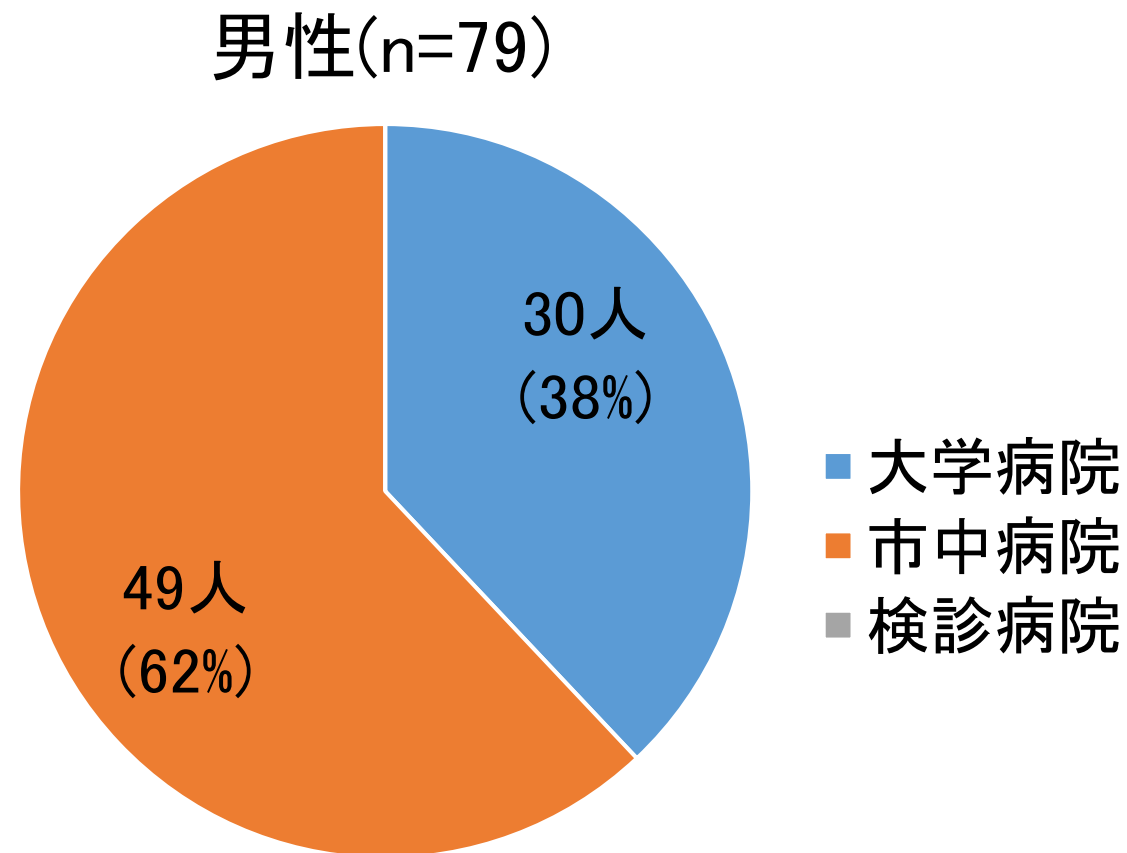
管理職 75名(33%); 男性 62名、女性 13名

(30歳代 3名、40歳代 14名、50歳代 38名、60歳代以上 20名)

中堅医師の現状

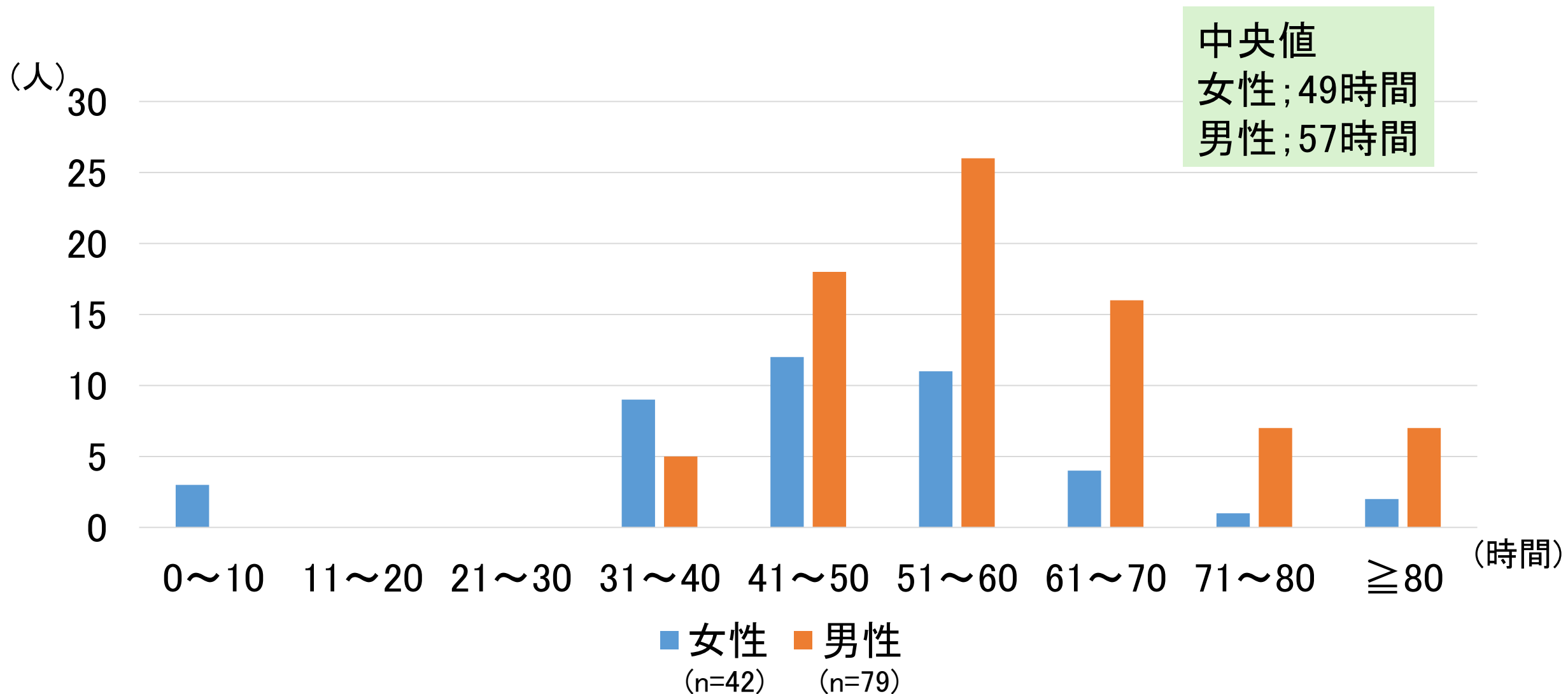


勤務形態： 常勤勤務 88%

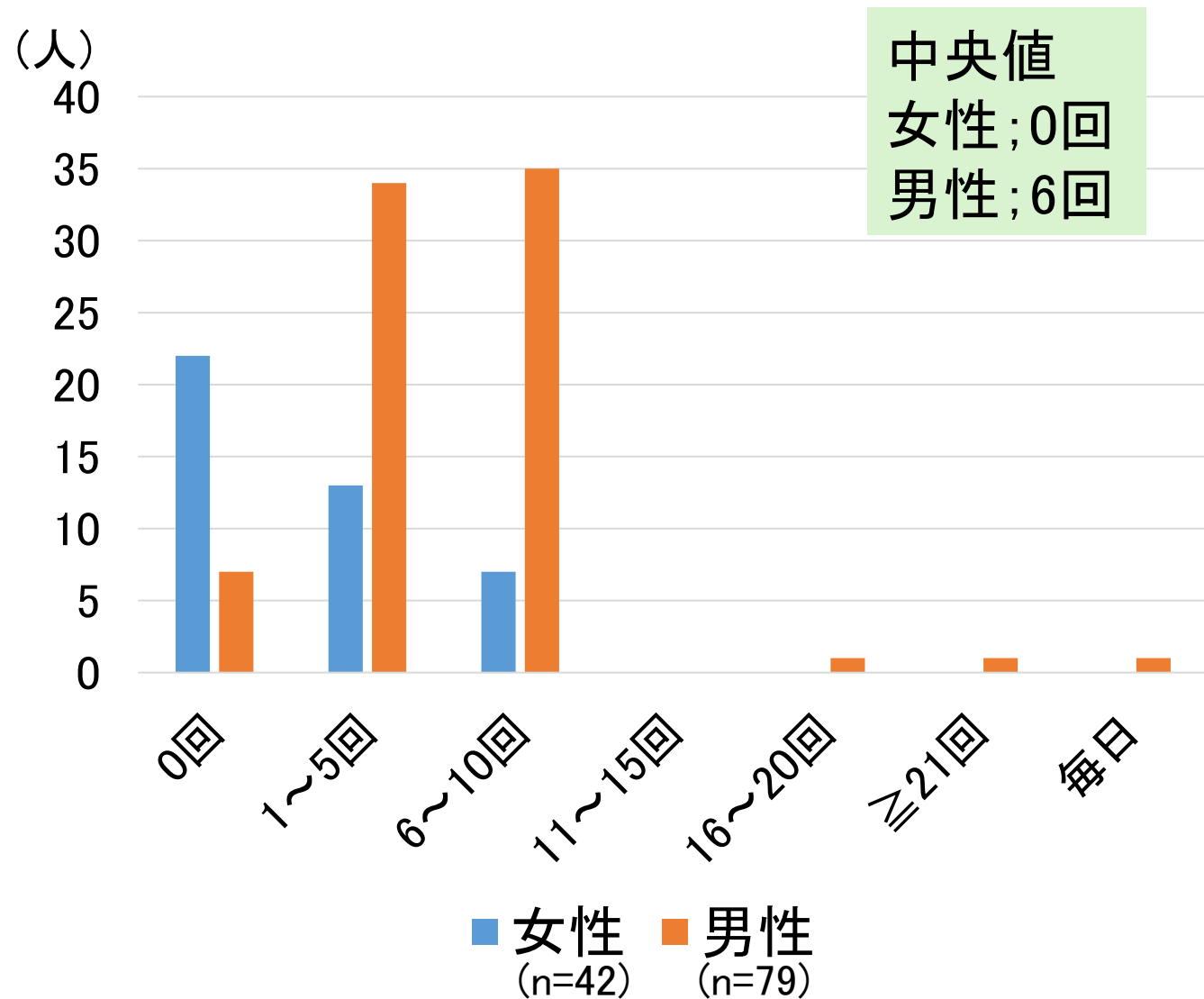
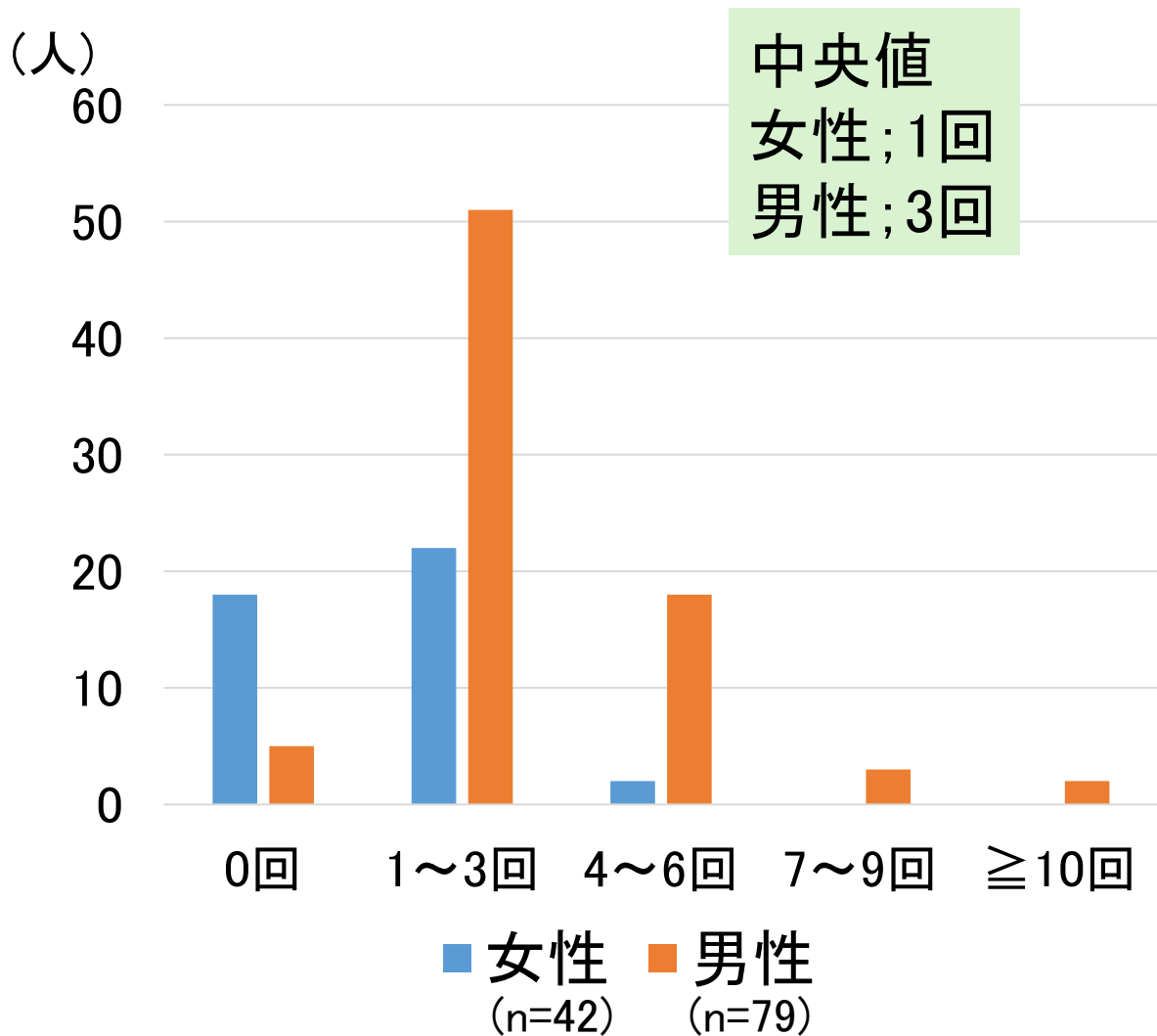


常勤勤務 92%

【中堅医師】実労働時間(1週間あたり)

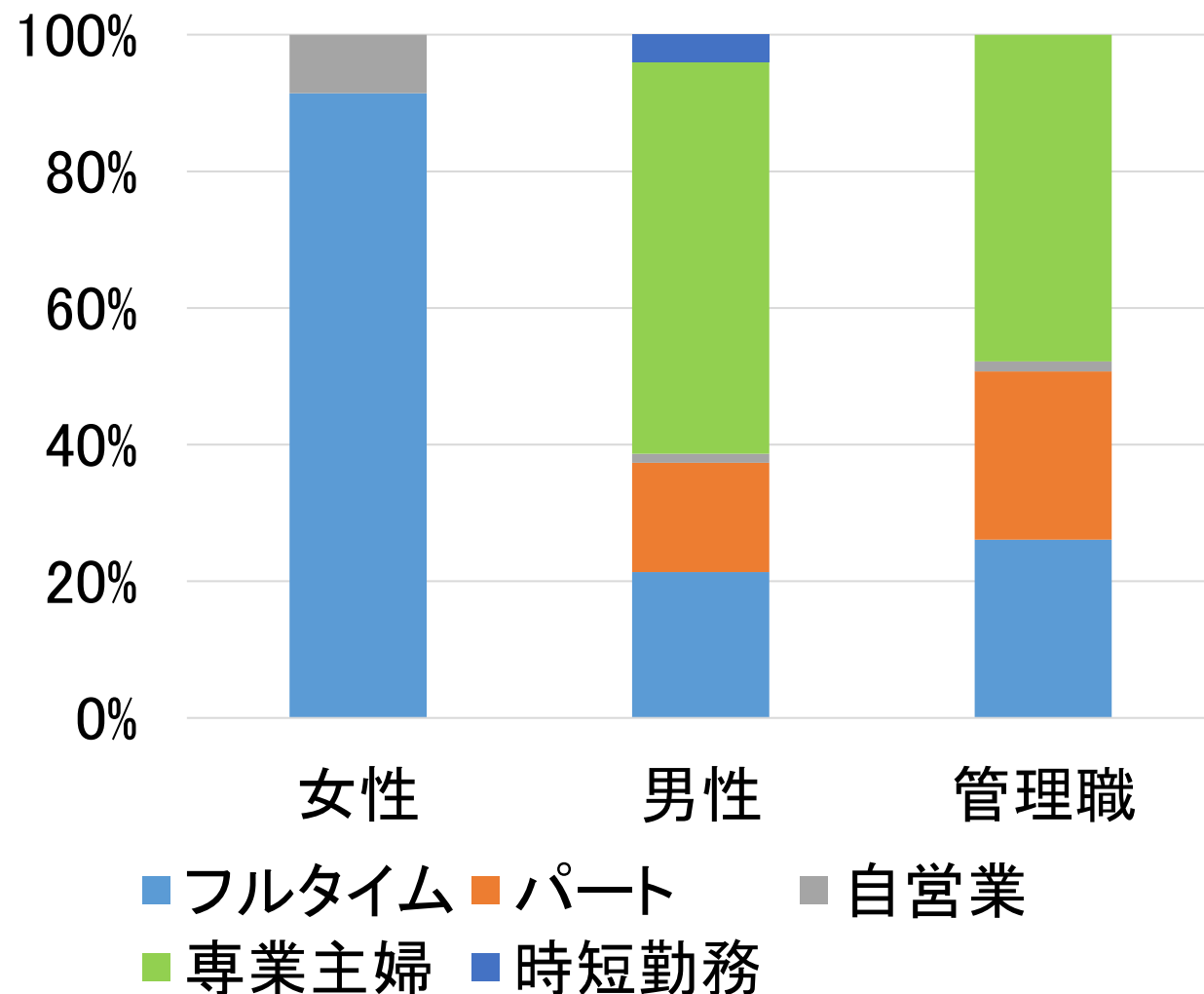


【中堅医師】日当直・オンコールの現状(1か月あたり)



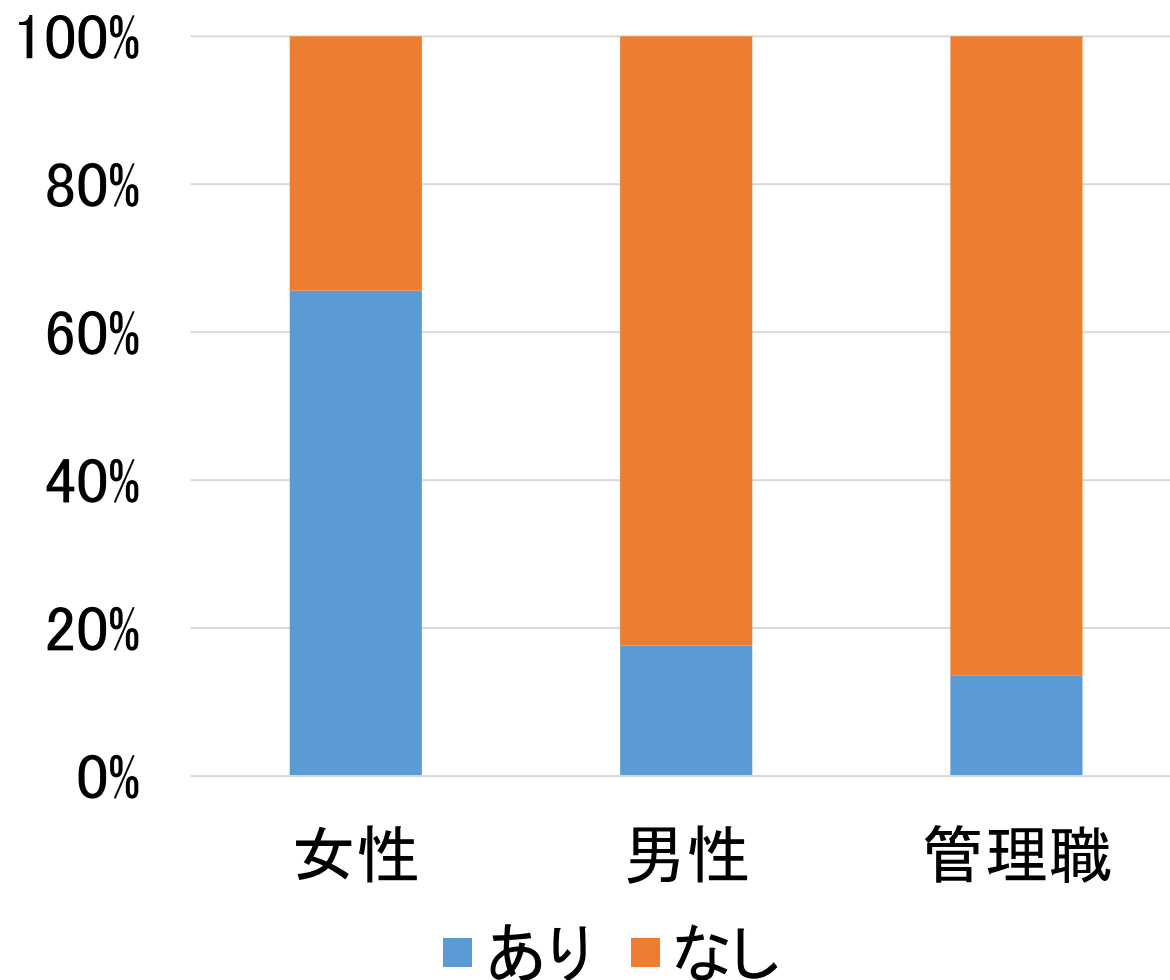
【中堅医師・管理職】 婚姻の有無／配偶者の勤務形態

	既婚	未婚	離別
女性 (n=42)	35	4	3
男性 (n=79)	75	4	0
管理職 (n=75)	68	4	3

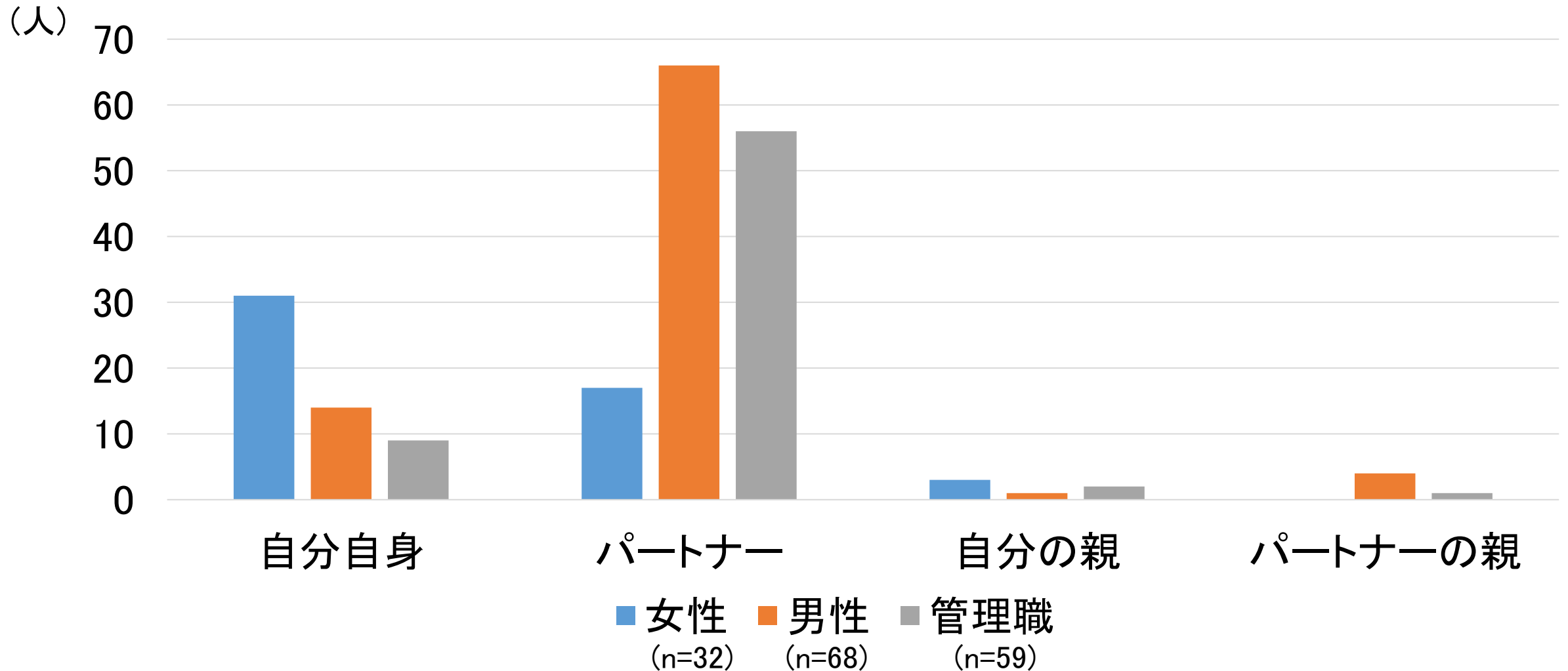


【中堅医師・管理職】 子供の有無／産後の仕事への影響

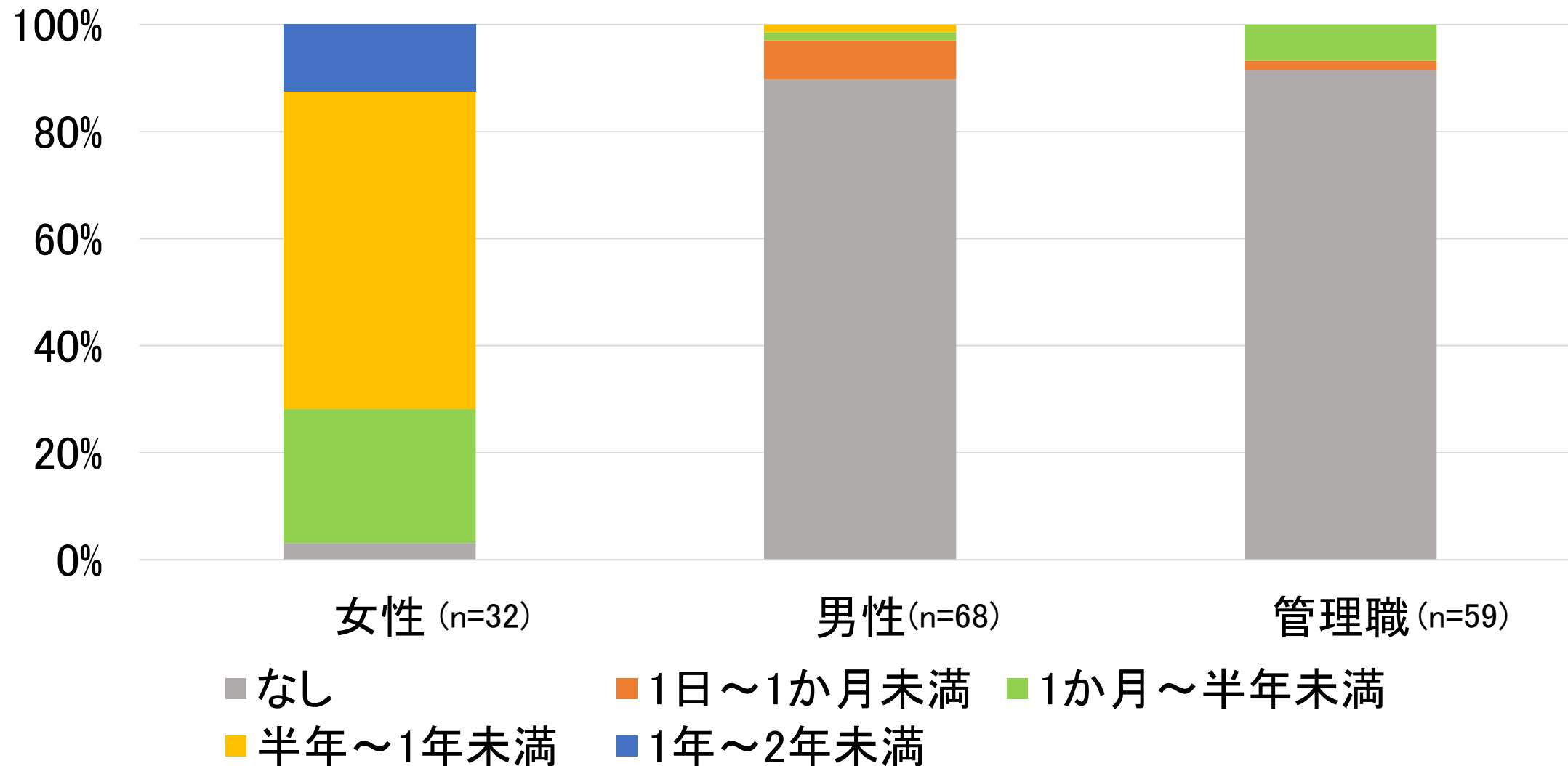
	いる	いない	妊娠中
女性 (n=42)	32 (76.2%)	9	1
男性 (n=79)	68 (86.1%)	11	
管理職 (n=75)	59 (78.6%)	16	



【中堅医師・管理職】子供の主養育者（重複あり）

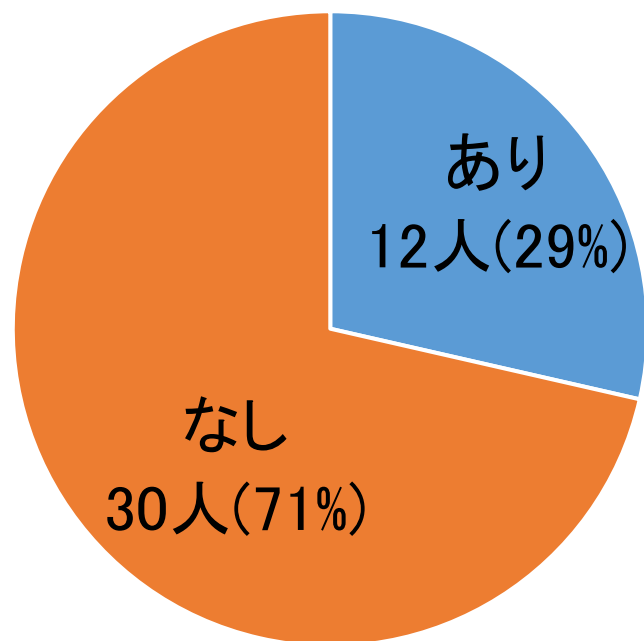


【中堅医師・管理職】育児休暇取得

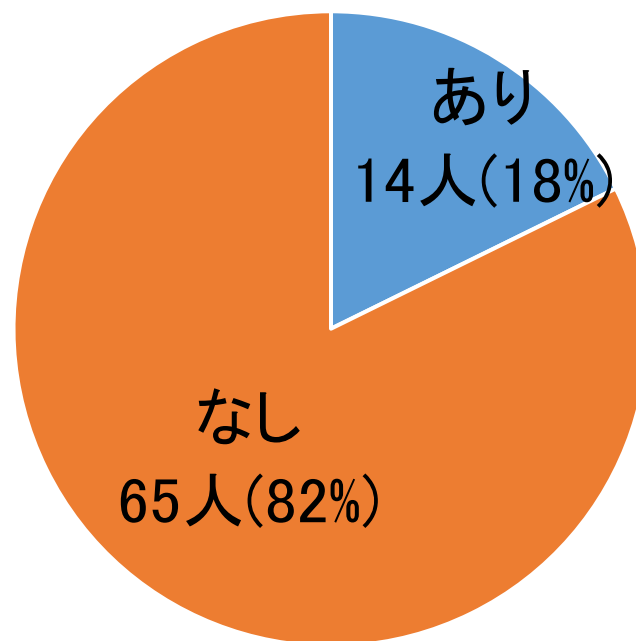


【中堅医師・管理職】不妊治療歴

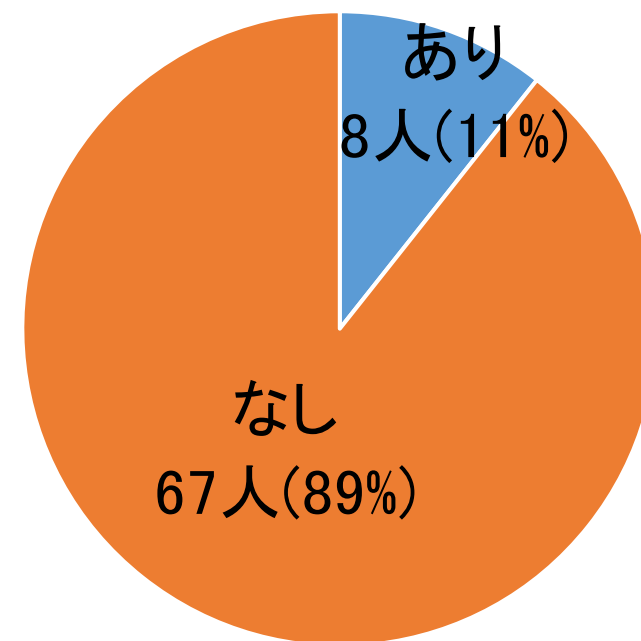
女性
(n=42)



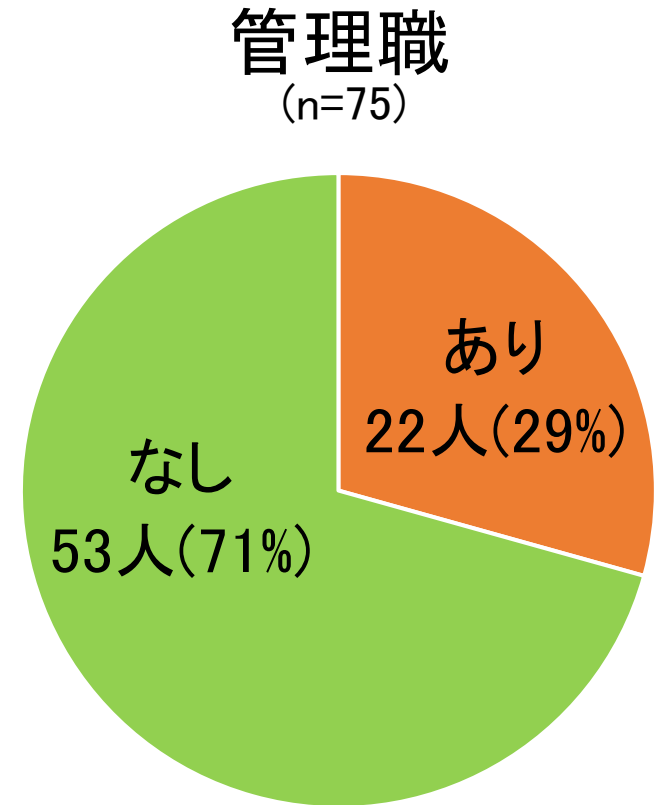
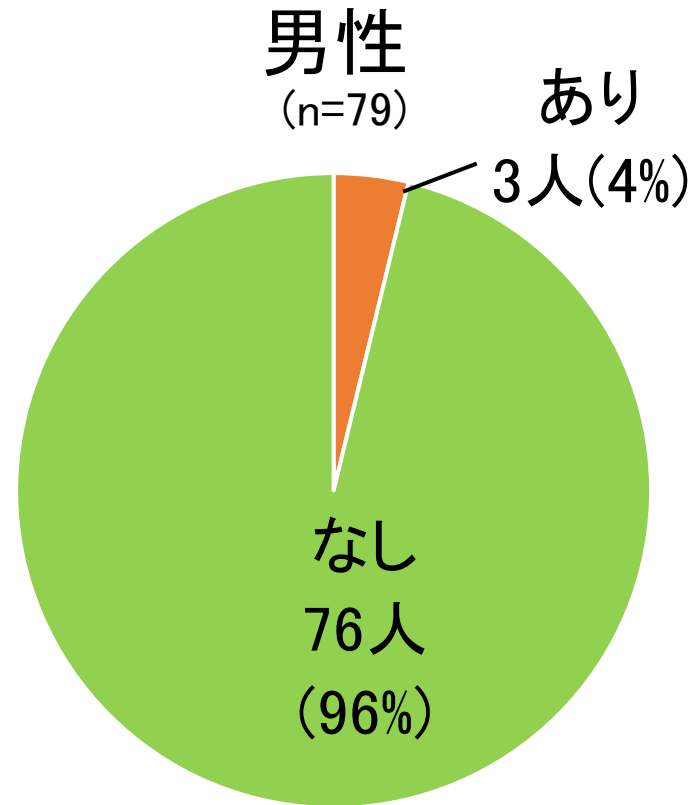
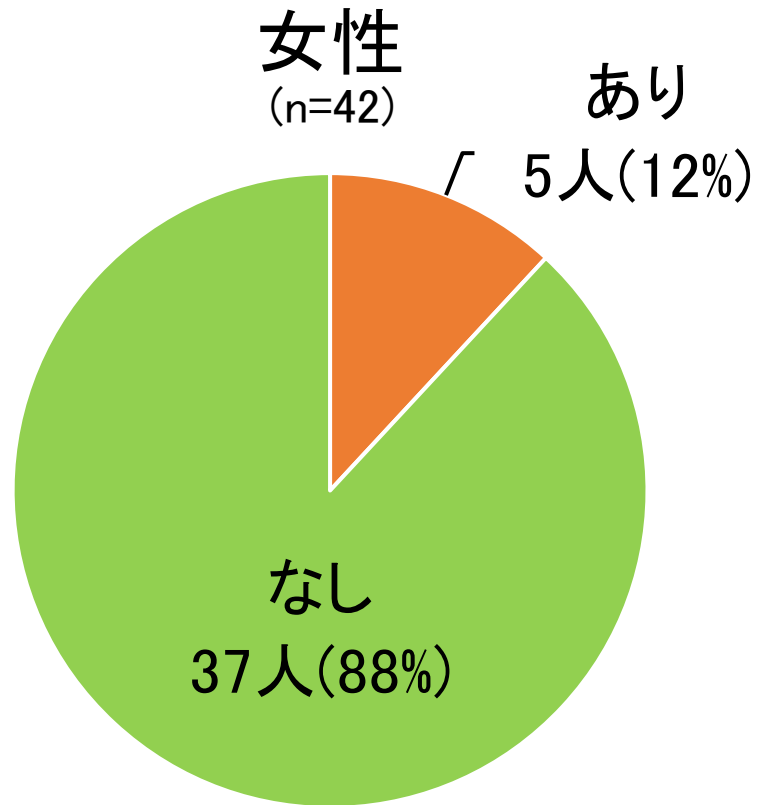
男性
(n=79)



管理職
(n=75)



【中堅医師・管理職】 要介護者の有無／介護休暇取得



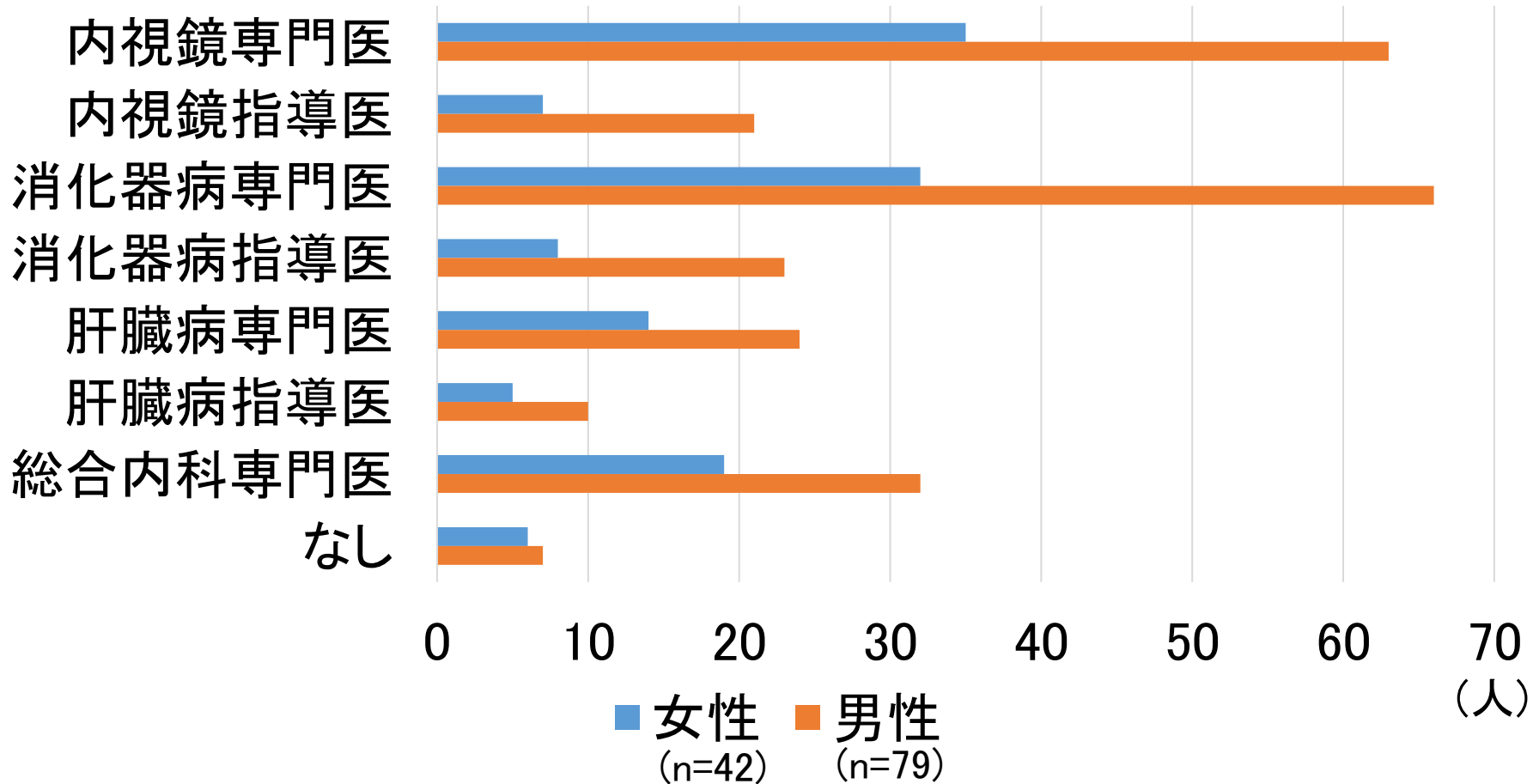
介護休暇
取得

1人

0人

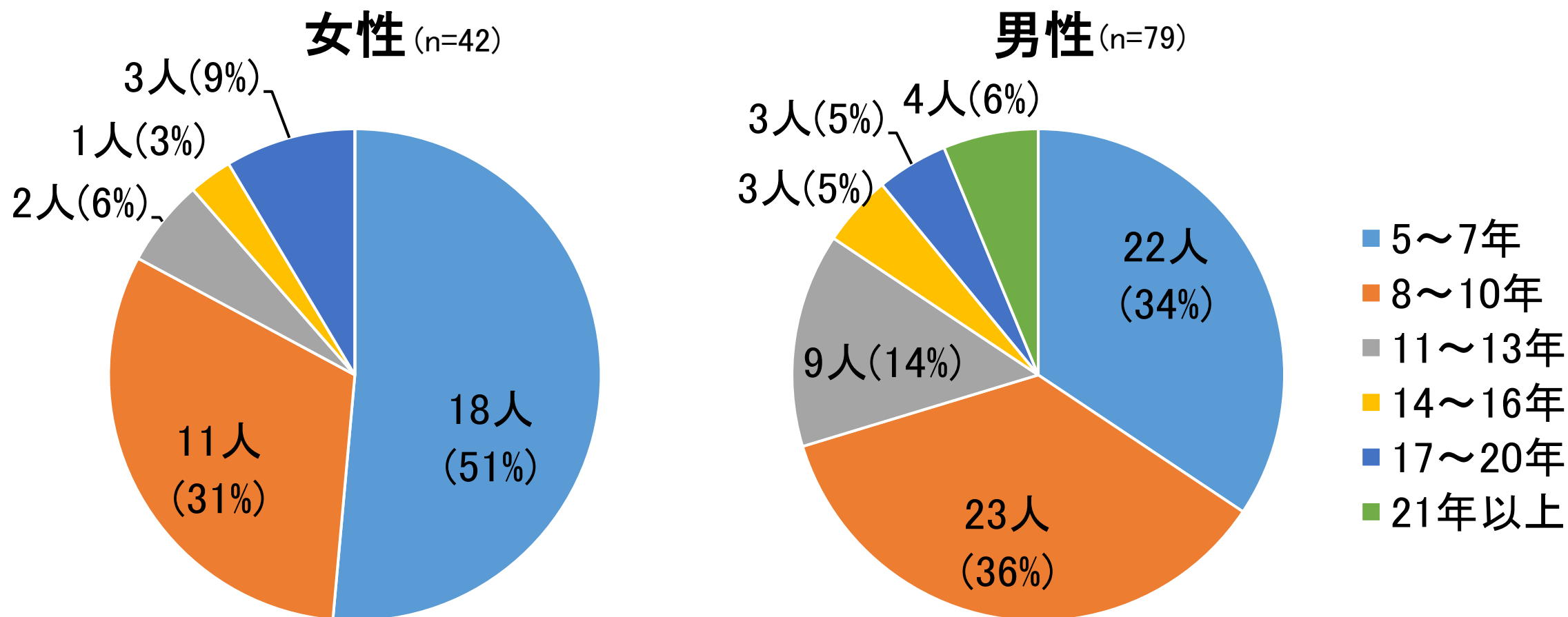
2人
(女性1人、男性1人)

【中堅医師】学会資格取得状況



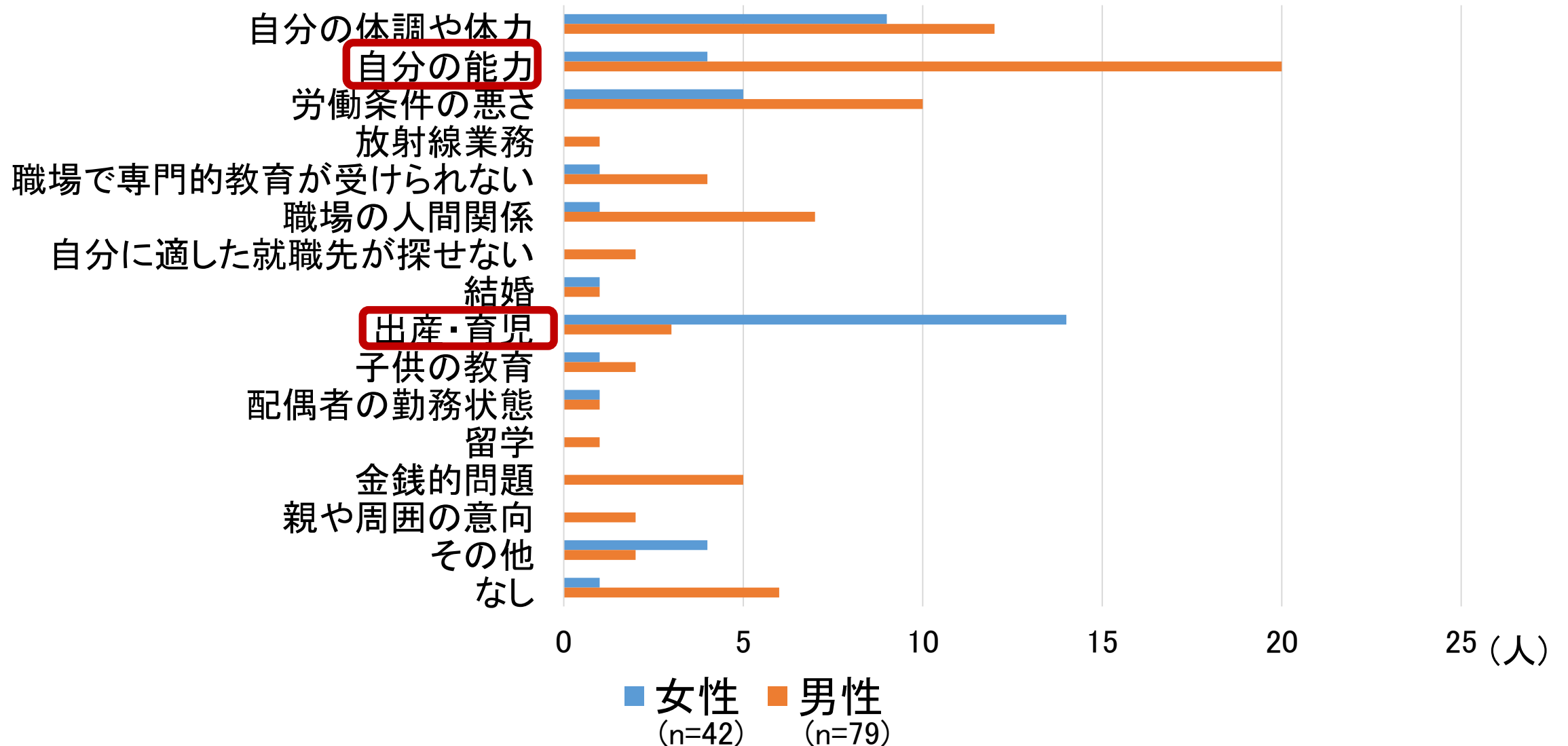
	指導医 取得者(%)
女性	12人 (28.6%)
男性	26人 (32.9%)
管理職	56人 (74.7%)

【中堅医師】内視鏡学会専門医取得時期

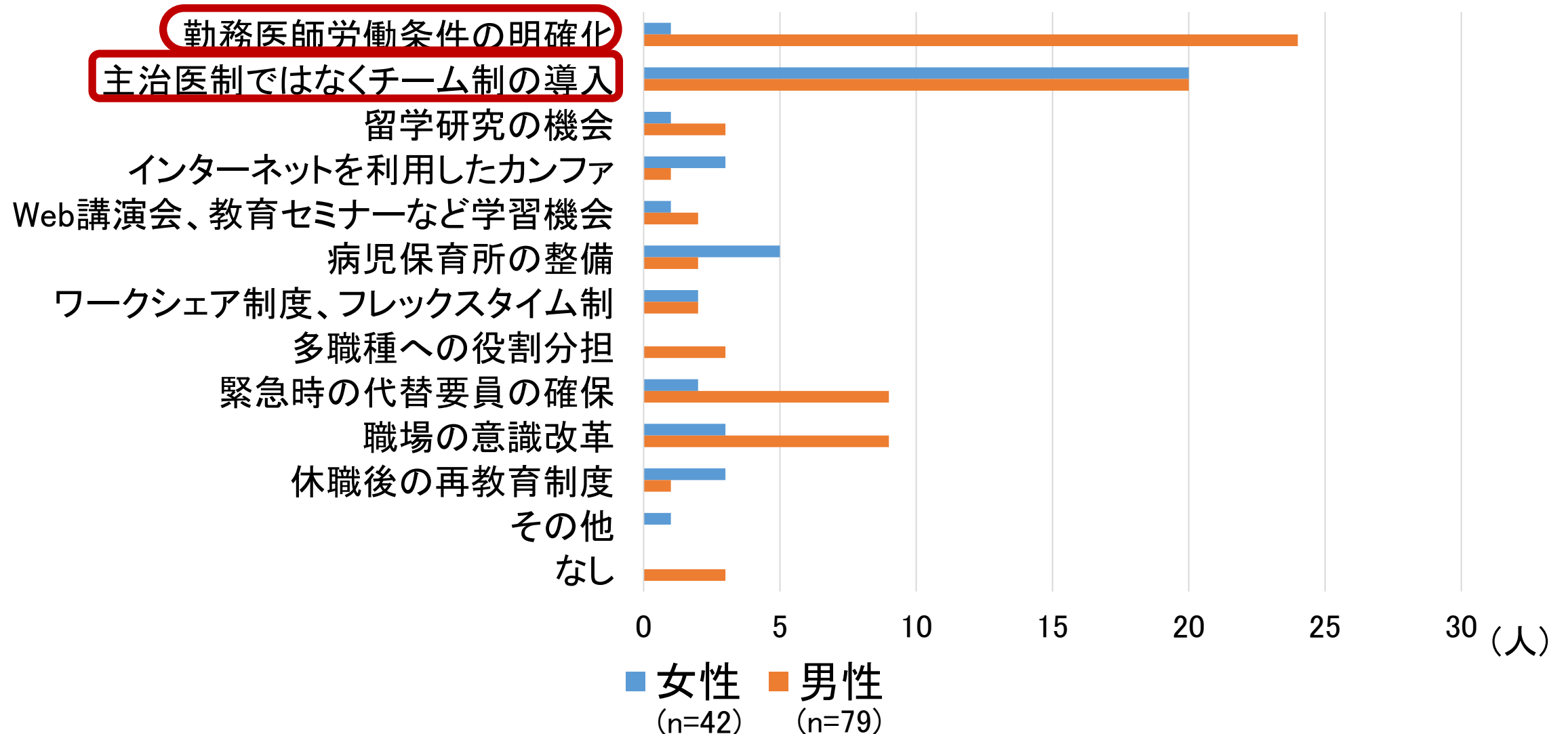


【中堅医師】

自分自身の医師キャリア形成の障害の主要因

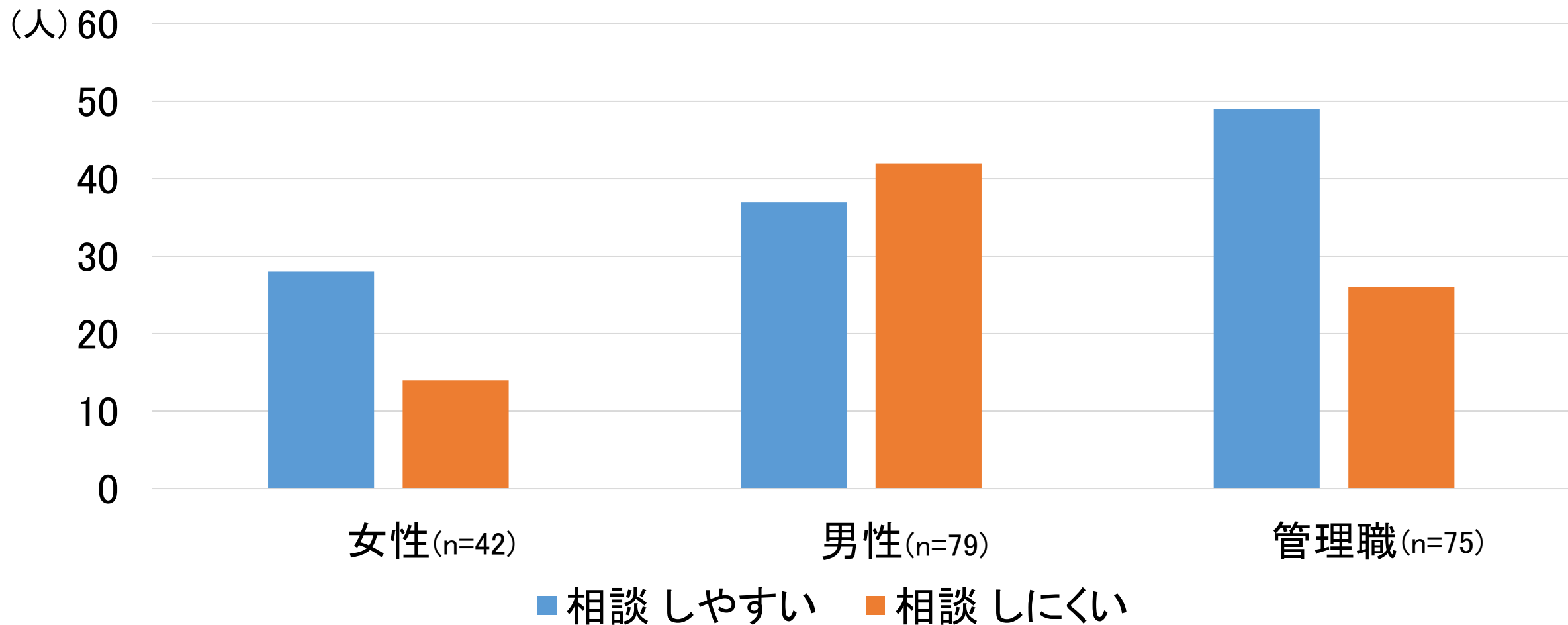


【中堅医師】 キャリア形成のために最も希望する支援

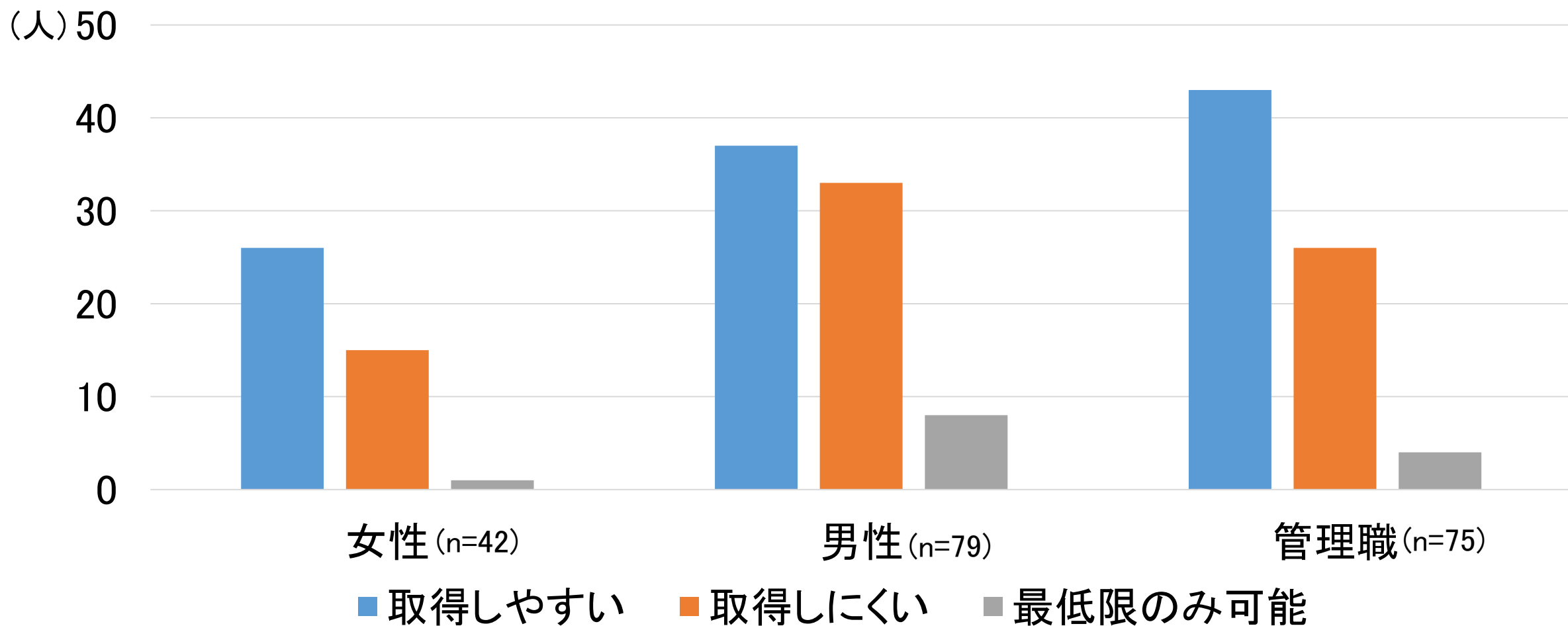


【中堅医師・管理職】

ワークライフバランス(WLB)について相談しやすい職場環境か

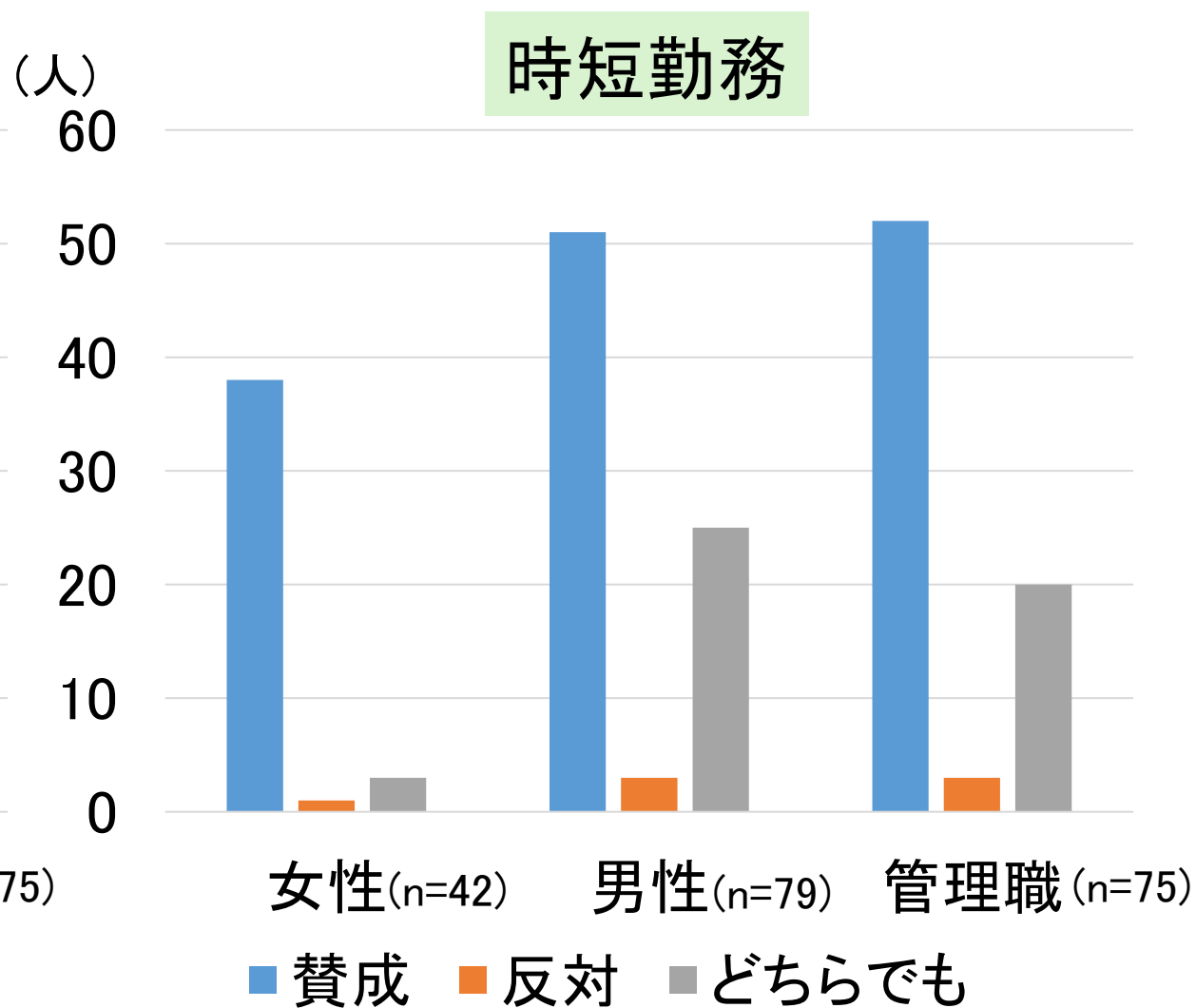
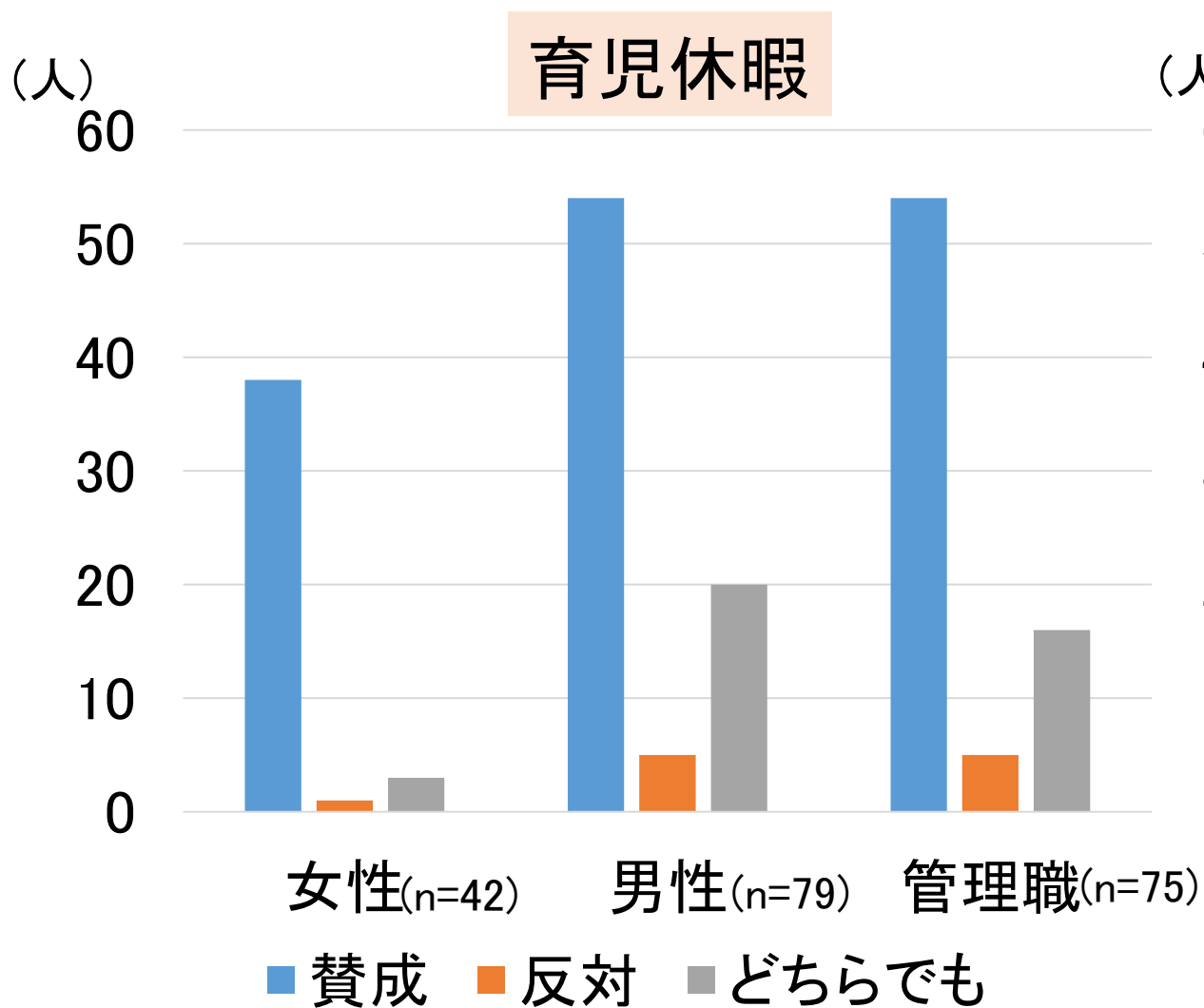


【中堅医師・管理職】 年次休暇取得に対する職場環境

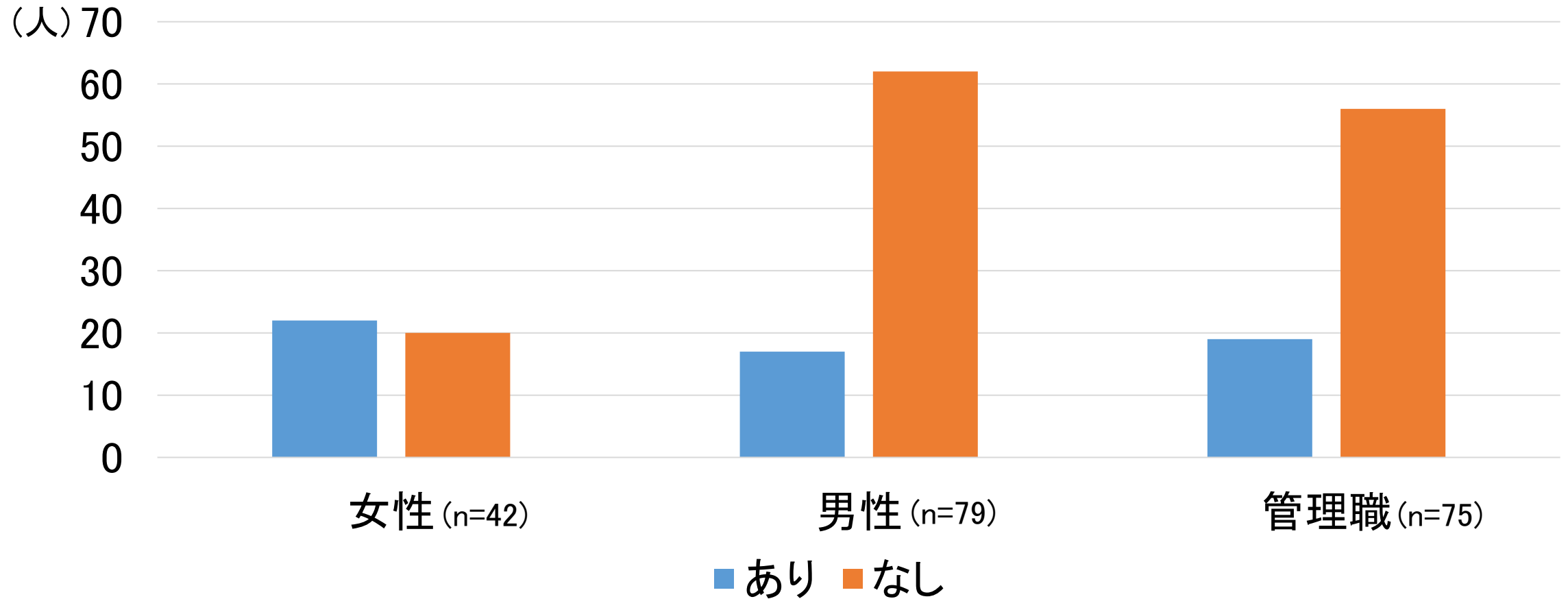


【中堅医師・管理職】

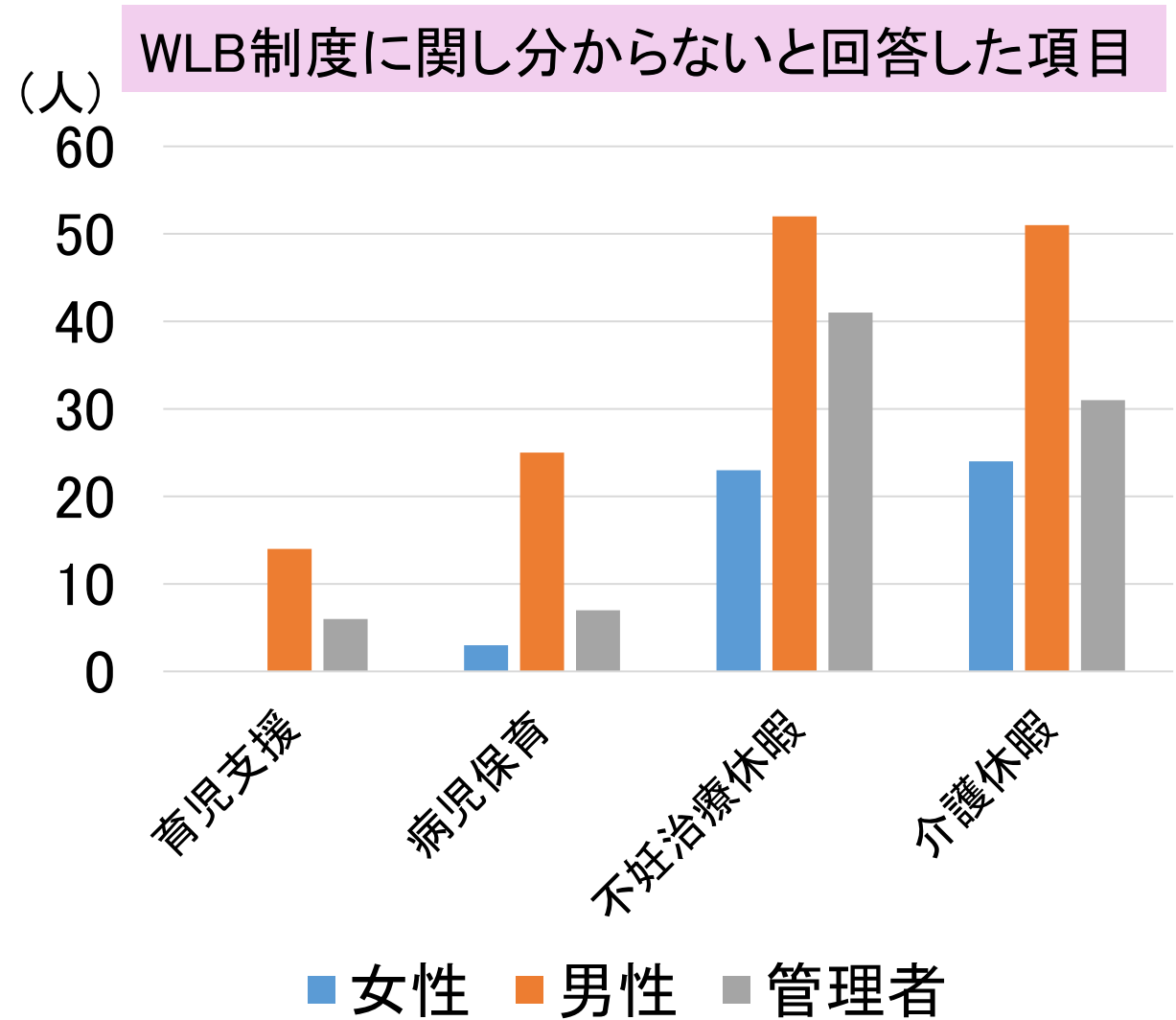
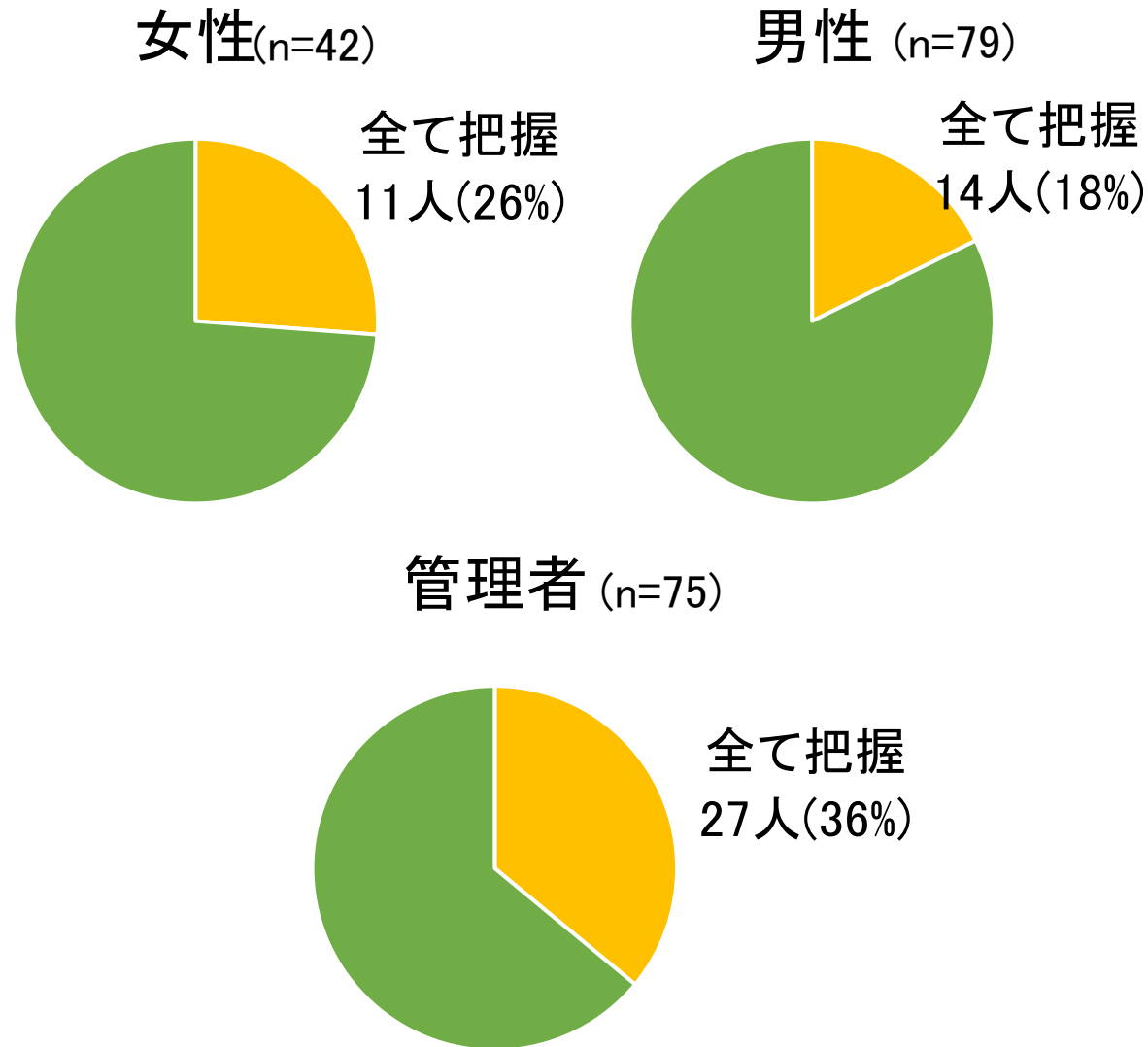
職場での育児休暇、時短勤務に対する意見



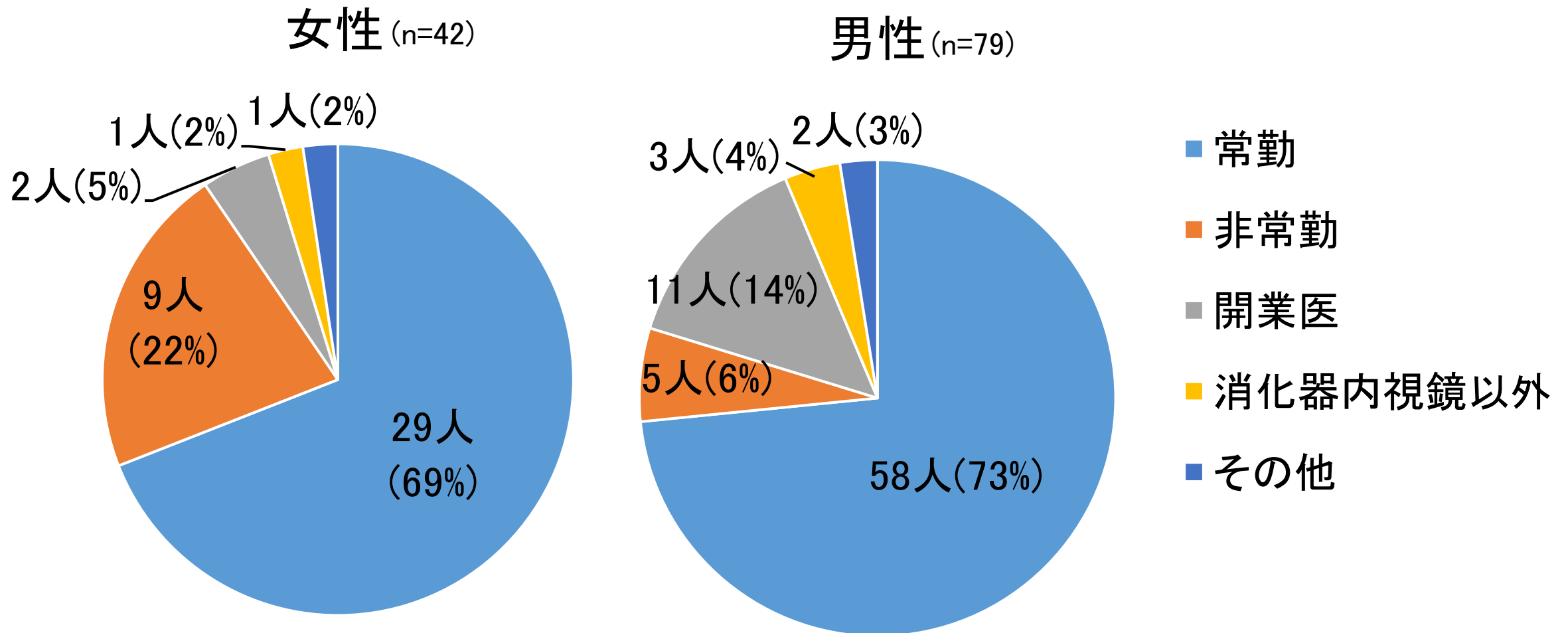
【中堅医師・管理職】 WLBに対する不適切対応の経験



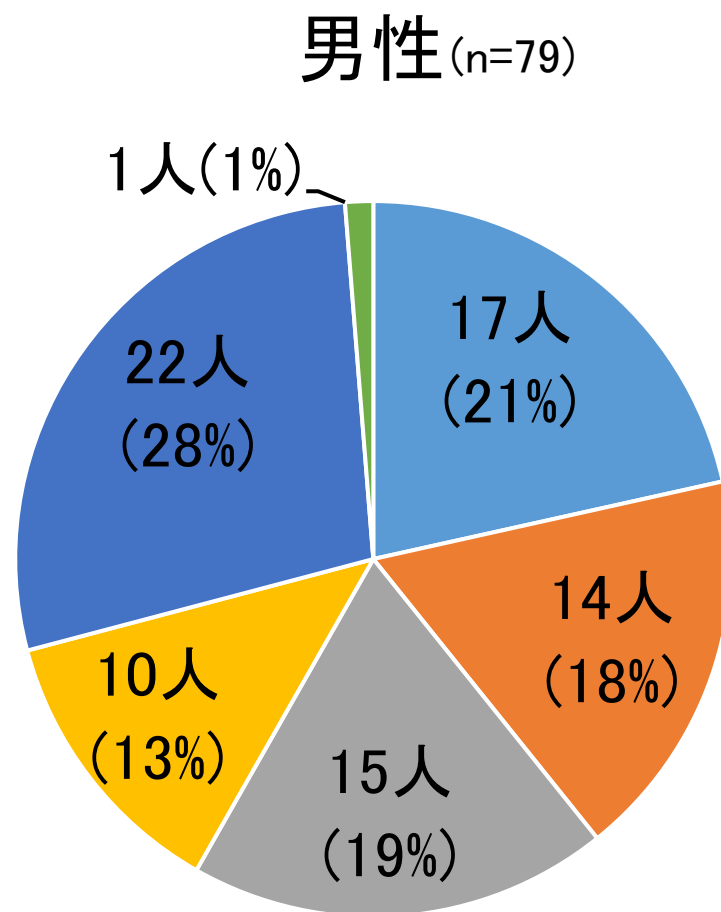
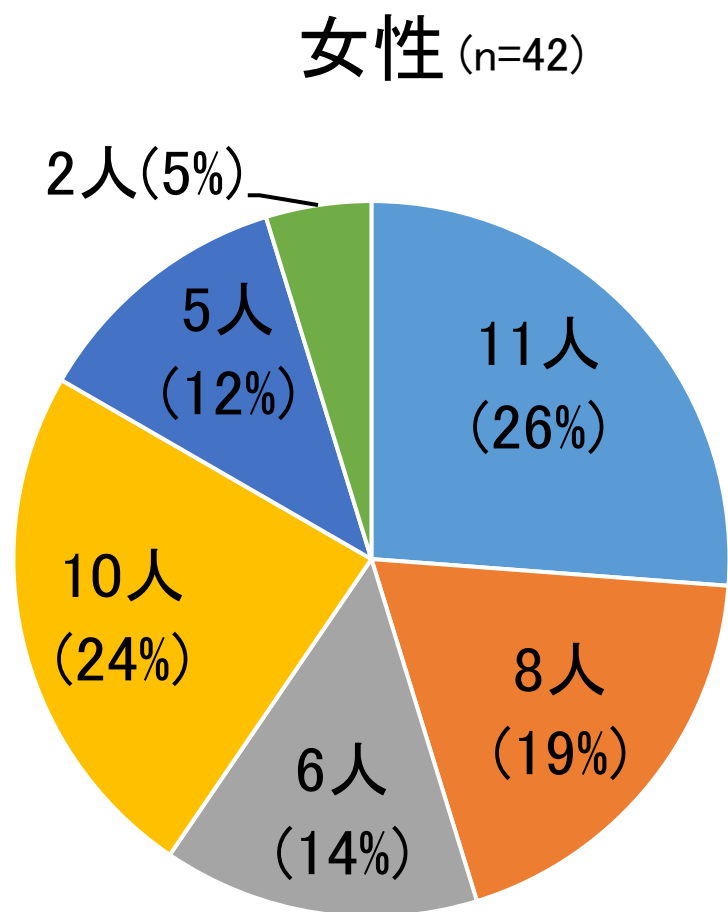
【中堅医師・管理職】 WLB制度の把握状況



【中堅医師】将来の勤務形態の希望



【中堅医師】将来の希望



- 専門医まで
- 指導医まで
- 評議員
- 診療重視
- 私生活重視
- その他

中堅医師からの現在の職場に対する改善の要望

- 管理職が率先した職場雰囲気づくり
- 男女年齢に関係なく、皆がWLB制度を利用できる環境
- チーム制や夜間休日の当番・当直医制への変更
- 医師の増員や医師欠員時の支援体制
- 雇用環境の改善
- スキルアップの機会
- お互いの思いやり
- コメディカルを含めた協力する体制づくり
- 昔の軍隊制の方が統率がとれる（中堅医師は間に挟まれ対処に困る。）

まとめ

- 中堅女性では、出産育児の負担を抱えながらも、同年代の男性医師と同等に消化器診療域のいずれかの学会指導医を取得していた。また、将来的な常勤勤務医としての勤務形態、指導医や学会評議員などのキャリア希望についても男女差は認めなかった。
- 中堅女性医師はWLBに関して相談しやすい、年休取得もしやすいと回答した一方、中堅男性医師でWLBに関する相談が出来ず、年休取得困難な状況に陥っていることが判明した。
- 男女を問わず、WLB制度を利用しながらも、しっかりとキャリア形成を得た者が上司になることが、若い世代へのロールモデルとなる可能性を十分期待できると思われる。

四国支部での今後の取り組み

- 学会支部セミナーのWeb開催
- 支部例会時の託児所設置
- 支部例会での特別企画等で、WLB等についての成功事例や取り組みを提示することで、各施設の参考・改善につながる可能性
- 内視鏡学会キャリア支援施設(四国支部)について、男女を問わず研修の受け入れが可能か検討する予定
- 男性委員も加わることで、より幅広い視点から活動を展開する予定

徳島県	青木 利桂 田中 久美子	愛媛県	長谷部 昌 兼光 梢
香川県	山本 久美子 西山 典子 安原 ひさ恵	高知県	岡崎 三千代 常風 友梨
四国支部支部長	稲葉 知己		